

TIA News the Voice

Vol.63



(公財)高松市国際交流協会では、今後も、定例事業に加え、様々な事業・イベントを開催し、より多くの有意義な国際交流の場を提供いたします。新たな発見、新たなつながりを目指して、更なる国際交流に努めてまいります。今後の協会事業に、ふるってご参加ください！



CHECK!

令和5年度トゥール市親善研修生派遣事業

トゥール市親善研修生派遣事業では、高松市の大学・短大・高専・専門学校に通う学生、または18歳以上の社会人を姉妹都市であるフランス、トゥール市へ2名派遣しています。今年度は、安藤陸都さんと川路真桜さんが研修生として9月7日から19日まで13日間滞在しました。現地活動ではトゥール市内見学や、現地の小学校、高校、大学、日仏交流会などを訪問、習字や折紙などのワークショップを開催し、たくさんの方々と異文化交流を図りました。

また、トゥール市で開催された日本を紹介するイベントにも参加しました。様々な交流を通じて研修生自身が日本文化を再認識し、有意義な体験をすることができました。滞在中はトゥール市内のご家庭にホームステイし、ホストファミリーとの楽しい思い出を作りました。



【安藤 陸都】

関西大学環境都市工学部
建築学科4年



研修も終わってみると得たものはとても多かった。私はたくさんの方に支えられていることを改めて感じさせられた。今回初めてフランスに行ったが、そこはやはり多くの私たち日本人が羨むフランスが広がっていた。私が滞在したトゥールにも歴史ある建物や街並み、それと対比するかのようメタリックなトラムが走る。人々はしばしば家族や友人と集まり家の庭やテラスで食事を楽しむ。私は建築学生として一人の人間としてここまで興味深かった10日間はない。普段は旅行に行くときもあまり計画を立てずに行くことが多かったが、今回で予定を立てたり、それに向かって準備したりする大切さを再認識した。旅行ではできない素晴らしい体験を得ることができたと思う。

私の長所は行動力だと思う。今回の研修に参加してより新しいことの挑戦するためのハードルを自分の中で下げることができたと感じている。私の夢は、地元と世界を繋ぐ建築家である。今回の研修で多文化共生の概念がさらに強くなってきており、この経験は私にとって間違いなく糧になると確信している。そしてもっと視野を広く持ち建築の勉強をして自分の夢を叶えられるように今後も精一杯考えて行動していきたい。



【川路 真桜】

香川大学農学部
応用生物科学科3年



今回のトゥール市での研修は本当に充実していて、貴重な経験ができたと思います。私は海外経験がほとんどないため渡航前は不安もありましたが、トゥールの市役所の皆様やホストファミリーのおかげで毎日がとても楽しかったです。現地では、日本文化を直接触れてもらうために折り紙や書道、ヨーヨーなどのワークショップを行いました。小学校のワークショップでは、昼休みになると子供たちに囲まれて、日本語を教えたり、一緒に校庭で遊んだりしたこともありました。また、みんなキラキラとした笑顔で折り紙を楽しんでくれたことが印象的でした。さらに、日本とフランスは遠く離れた国同士ではありますが、アニメやアイドル文化を通じて日本が大好きだと言ってくれる子が多く、とても嬉しかったです。アニメグッズ専門店やコスプレイヤーも見かけたので、ここまでアニメが外国の方に親しまれていることには驚きました。

最後に今回の親善研修では高松市やトゥール市の多くの方にお世話になりました。今後は、今回の経験を生かして高松市の方にトゥール市の魅力を紹介し、ほかの国の出身の方々にも、日本の文化を知っていただけるように、国際交流に関するイベントにも積極的に参加していきたいです。

国際交流秋の茶会



2023年12月3日(日)に、高松屋島ライオンズクラブ主催の「第56回秋の茶会」が玉藻公園の披雲閣で開催されました。11か国からの在住外国人が招待され、公益財団法人高松市国際交流協会は引率として、茶会に参加しました。

この茶会は、高松市在住の外国人たちや留学生など、一緒に日本のお茶文化や食べ物を楽しむイベントになりました。参加した外国人の皆さんは、日本のお茶やお菓子に興味があると言って、笑顔で飲食しました。最後に、自由におしゃべりする時間がありました。参加者たちは、互いの国や文化について話しながら、日本の蕎麦を御馳走になり、そのうえ、お土産までいただき、この茶会は、とても楽しくて有意義な時間でした。高松屋島ライオンズクラブさんのご招待、ありがとうございました。



多文化共生イベント

多文化共生のテーマである国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の一員として共に生きること、それに伴うまちづくりの認識を広めるため、ワークショップや講演会など多様なイベントを開催しています。



多文化共生イベント「一緒に暮らすこと⑭」

【みんなの防災 3ーみんなで避難スイッチを考えてみようー】

日時：令和5年10月22日(日) 13:00-15:30

場所：アイパル香川 大会議室

講師：香川大学創造工学部 准教授 竹之内 健介



避難スイッチの詳細はこちら

在住外国人、日本人のみなさんがワークショップを通じて、防災知識はもとより多文化共生の認識を図る「みんなの防災 3ーみんなで避難スイッチを考えてみようー」を開催しました。

避難スイッチは、それぞれの避難のタイミングを前もって考えておく取組みで、実際に災害が起こった時に落ち着いて行動することができる内容です。香川大学の竹之内准教授のご指導と、ニコラスさんの英語通訳のもと、避難スイッチをグループでディスカッションしながら作成しました。日本での防災についての取組みを初めて聞いたり、海外での防災についての取組みについてグループ内で共有しながら知ることができたりと、双方にとって有意義なワークショップとなりました。

国際交流子どもスクール

楽しく身近に感じられる国際交流・異文化交流の場を提供する「国際交流子どもスクール」を開催しています。様々な体験を通じて、世界のことを楽しく学ぶ内容です。

◇せかいのクラフト教室【ハロウィン編】

日時：令和5年10月29日(日)

14:00-16:00

場所：アイパル香川 第5,6会議室

講師：高松市招へい教師 サム・ガメス



今回のクラフト教室は、アメリカ出身で高松市招へい教師のサムさんにお越しいただき、ハロウィンコスチュームコンテストやスケルトンのクラフト制作を行いました。初めにサムさんの自己紹介やハロウィンについて話してもらった後、子どもたちは一人一人ハロウィンの音楽に合わせて、ステージで自分のコスチュームを披露しました。最後にみんなで投票し、「めだつたで賞」「かわいいで賞」「おもしろいで賞」が表彰されました。

スケルトン制作では、綿棒を使ってスケルトンの骨を作り、リボンやビーズなどでデコレーションしたハロウィンらしい作品が出来上がりました。参加の子どもたちはサムさんに質問して交流を図りながら、ハロウィンの雰囲気を楽しみました。

◇せかいのクラフト教室【トルコ編】

日時：令和6年1月28日(日)

14:00-16:00

場所：アイパル香川 第4会議室

講師：イスタンブール出身 エダ・スギヤマ



国際交流子どもスクールが始まって以来、初めてトルコ出身の先生をお招きしました。トルコ、イスタンブール出身のエダさんは、イスタンブールの煌びやかな宮殿の写真や色鮮やかなトルコ料理の写真などを紹介してくれ、親子で参加してくれた皆さんは写真に見入っていました。

モザイクランプで有名なトルコにちなんで、トルコランプ風のキャンドルホルダーを制作しました。モザイクガラスを貼り付けたり、セメントをつけたりと、作業工程で難しい面もありましたが、苦勞して出来上がったキャンドルホルダーは1つとして同じデザインのものはなく、思い出深い作品になりました。お家でキャンドルを灯して、エキゾチックな気分を味わってほしいです。

第 30 回さぬき探訪



第 30 回さぬき探訪は、高松ユネスコ協会の協賛で、坂出市にある鎌田ミュージアムを訪問しました。令和 5 年 11 月 12 日(日)に開催し、11 か国 21 名の外国人の方々が参加しました。あいにくの雨で寒い日でしたが、屋内中心のイベントだったので助かりました。

初めに、香風園という日本庭園を、歴史的な背景についての説明を受けながら散策し、その後郷土博物館を見学しました。重要文化財である収蔵品や大正時代の建築様式、調度品などをじっくり見ながら、当時の雰囲気を感じました。

次に、同じ敷地内にある四谷シモン人形館へ歩いて移動し、四谷シモンが制作した球体関節人形を見学しました。大正ロマン漂う建物と特徴的な人形たちの独特な世界観に、参加者たちは完全に引き込まれていました。

最後は、小沢剛醤油画資料館の見学と醤油画体験をしました。醤油画体験では、筆に醤油をつけて濃淡をつけながら、思い思いに自分の好きな絵を描きました。参加者の中には、水墨画のようなすばらしい仕上がりになっている方もいました。参加者全員、とても熱中して描いていました。

参加者の多くから、香川の伝統文化や歴史を知ることができて、楽しい時間を過ごすことができたという言葉がもらったり、香川県にこんな世界があって驚いた、など喜んでくれる方がたくさんいらっしゃり、有意義な時間になったと思います。



国際交流支援事業「コミュニティで国際交流しませんか」後期活動報告



当協会では、「国際交流支援事業」として地域住民の方、在住外国人の方が気軽に楽しく参加できる国際交流イベントを高松市内のコミュニティセンターで開催しています。1 人でも多くの方に、イベントを通じて国際交流・多文化共生の認識を図ってもらい、在住外国人の方とのコミュニケーションを取るきっかけになればと思います。

【フランスを楽しく学ぼう】

日時：令和 5 年 12 月 13 日(水) 10:00-11:30

場所：高松市林コミュニティセンター

講師：ニコラス・テメ（フランス出身）



高松市林コミュニティセンターを訪問し、シニアクラブの講座として『フランスを楽しく学ぼう』を開催しました。講師のニコラス・テメさんが、出身地であるベルサイユ市について、フランスのクリスマスや食習慣、「いきいきシニア生活」としてフランスの高齢者の方々の生活について紹介しました。また、フランス語ミニ講座を開催し、単語クイズや、日本語とフランス語の空似言葉を紹介しました。最後にフランスで人気のゲーム「ミカド」をグループで体験し、みなさん初めてするフランスのゲームを楽しんでいました。

【クリスマスワークショップ】

日時：令和 5 年 12 月 21 日(木) 14:00-16:00

場所：高松市屋島コミュニティセンター

講師：ジョー・マコーリ（アメリカ出身）



高松市屋島コミュニティセンターを訪問し、『クリスマスワークショップ』を開催しました。講師のジョー・マコーリさんの指導のもと、アメリカのおやつ、ダブルチョコレートチップクッキーを焼いたり、出身地であるペンシルベニア州について、またアメリカのクリスマスの過ごし方などを紹介していただきました。クリスマスビンゴをみんなで楽しんだり、クリスマスカードを手作りしたりと充実した内容となりました。最後にジョーさんからいただいた素敵な袋に手作りしたクッキーとカードを入れてクリスマスギフトの完成！楽しいクリスマスの時間を共有することができました。

第7回国際交流スポーツ大会

令和5年12月17日(日)13:30-16:30、高松ライオンズクラブとの共催で【第7回国際交流スポーツ大会】—ボウリング大会を、太洋ボウルにおいて開催しました。

この事業は、市民と在住する外国人が気軽に参加できるボウリングを通して、言葉の壁を越えて楽しく国際交流を図るものとして、毎年開催されています。11か国・地域の在住外国人20名と日本人24名の合計44名の参加者が集まり、親善を深める機会となりました。今年の大会は、参加者の人数制限を緩和して、準備運動として優れている「ラジオ体操第一(英語版)」を実施し、司会進行は日本語と英語で行いました。

このように、国際交流スポーツ大会は、スポーツを通して世界の人々が一つになる素晴らしいイベントでした。このボウリングを通して楽しい時間を共有し、国際交流の輪を広げることができました。



Kid's 国際理解出前事業



この事業は、市内の幼稚園・保育園児が世界のさまざまな国や文化について学ぶことを目的としています。

高松市内の幼稚園・保育園等を対象に、9月12日(火)に香川県国際交流員コリン・マキオンさん(イギリス)が高松市立三谷保育所を、11月1日(水)に香川県国際交流員チャンヤン・パークさん(アメリカ)が高松市立太田保育所を訪問しました。

外国人講師は自分の出身国の紹介や体験談を話しました。また、児童たちは国旗や民族衣装を教してもらったり、外国の歌やダンスを習ったりしました。児童たちは、異なる言語や文化に触れることで、国際的な視野や理解を深めることができました。

現場には、児童たちの笑顔や楽しそうな様子があふれていました。この事業は、毎年行われています。

国際交流団体紹介 「公益社団法人セカンドハンド」

セカンドハンドは、1994年に設立した国際協力団体で、今年で30周年を迎えます。高松市内で3店舗のチャリティショップを運営し、その収益で主にカンボジアの学校建設や貧困家庭で暮らす子どもたちの支援、フェアトレード事業を通じた女性の自立支援などを行っています。国内では、小学校～大学・施設等で、国際協力やボランティア活動、職場体験などさまざまな学習テーマに合わせ、国際協力につながる活動を体験したり、学んだりすることができる機会を提供しています。持続可能でよりよい世界を目指すSDGsとも密接に繋がっており、10の重点課題に取り組み、貢献しています。

チャリティショップでは、全国の皆様から無償で提供いただいた衣類、食器、雑貨などのさまざまなりユース品をボランティアスタッフの力を借りて販売しています。ショップやイベントでのお店番、倉庫での仕分け作業、運搬、事務作業などをお手伝いいただけるボランティアを大募集しています。

ボランティアにご関心をお持ちの方はお気軽に事務局までご連絡ください。
(jimukyoku2hand@yahoo.co.jp TEL:087-861-9928)



カンボジア 支援する子どもたちと



片原町店

Information

TIAの今後の主な事業予定

●2024年●

- | | |
|------------|--------------------------------|
| 6月中旬頃 | 第32回さめき探訪 |
| 7月 | トウル市紹介イベント
「トウルとフランス映画」(仮題) |
| 7月22日-8月1日 | セント・ピーターズバーグ市
高校生親善研修生派遣事業 |
| 8月14日 | 高松まつり 国際交流おどり子連 |
| 8月25日 | 第19回 小学生英語暗唱大会 |
| 9月 | 多文化共生イベント
「みんなの防災4」(仮題) |

* 詳しい日程が決まり次第、TIAのホームページやチラシ等でご案内しますので是非ご参加下さい。

国際交流ボランティア募集

当協会では随時、国際交流ボランティアを募集しています。活動内容は語学ボランティア、ホームステイ受入れ、事業運営、編集などです。興味のある方は是非登録してください。

「7カ国語会話集」好評発売中！

外国からのお客様が我が家にホームステイすることになったら「なんて言えばいいの??！」
答えはこの中から見つかります。100円



LINE登録で、イベント情報等を受信！



(日本語)



(English)

参加費無料

毎週日曜『日本語会話クラブ』

13時～16時 アイパル香川 3F
日本語を楽しく勉強しませんか？
参加費無料！ボランティア講師が
参加をお待ちしています！



国際交流団体等への助成金制度のお知らせ

当協会では国際交流団体等が国際交流を目的とする事業に対し、事業費の助成を行っています。

【助成限度額】 最大5万円、事業費の3分の1

今年度、当協会が助成金を交付した団体について御紹介します。

【団体名】高松ユネスコ協会

【事業名】ユネスコ・クッキングパーティ(第18回)

<助成金を得たことによる効果>

マレーシア、ミャンマーとも、ユネスコのクッキングパーティでは初めてのお国で、各国の歴史、文化、生活などについて直に理解を深めることができました。また、東南アジア各国から若者が来県し、オイスカなどで研修生活している様子がよくわかり、彼らの頑張りに参加者から応援する声も聞こえました。お互いの国の歴史、生活、文化における考え方を理解するためには、市民レベルの交流が重要であることを改めて痛感しました。



【団体名】香川日韓交流協会

【事業名】やさしい韓国料理

<助成金を得たことによる効果>

「韓薬膳shi源」金承喜先生の指導により、海鮮チヂミ、トッポギ、ヤマイモキムチ、豆苗のナムル、タッカルビを作り、韓国薬膳料理の調理実習を行いました。

韓国の薬膳料理を体験し、健康と美容による薬膳の知識について、理解を深めるとともに、韓国と日本の調理法や調味料の違いなど非常に興味深く、交流できました。



外国人留学生学習・交流活動支援事業について

令和6年度から、高松市内に在住する留学生に対し、学習支援及び交流活動支援を実施する予定です。

詳しくは、事務局へお問い合わせ下さい。

編集後記



姉妹・友好都市等との交流事業の一つ、高松市の姉妹都市である、アメリカ、フロリダ州のセント・ピーターズバーグ市への高校生親善研修生派遣事業を5年振りに再開することになりました。有意義な経験をする絶好のチャンスです！多数の応募をお待ちしております。 T.K



TAKAMATSU INTERNATIONAL ASSOCIATION
公益財団法人高松市国際交流協会
〒760-0017 香川県高松市番町一丁目11番63号 アイパル香川内
TEL 087-837-6003 FAX 087-837-6005

IPAL KAGAWA, 11-63 Ban-cho 1-chome Takamatsu, Kagawa
E-mail : tia@kgw.enjoy.ne.jp
ホームページアドレス <http://tia-takamatsu.jp>